

三四

丙
二六二五

立案 昭和十八年十月廿日
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁



宮内事務官

了

故海軍中佐齋藤利之位階追陞ノ件

昭和十八年十月三十日裁可
臺帳記入 月 日
録令十月五日
日官報報告濟

325

裏面白紙



故海軍中佐齋藤利之佐階追陞

ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十八年十月三十日

内閣總理大臣東條英機

内

閣

人海第 四六 號

起 案 昭和十六年十月十九日
裁可 昭和十八年十月 日 施
決定 昭和 年 月 日 行
昭和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

故海軍中佐齋藤利之位階追陞
、件

辭令案

例文

八月二十八日付

内閣

裏面白紙

327

敘從五位 昭和十八年八月二十八日死亡 故海軍中佐 正六位 齋藤利之

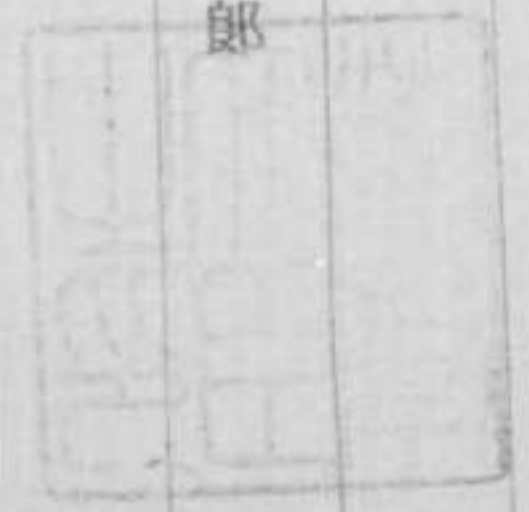
昭和七年四月一日任海軍機關少尉以來在職十年以上

右文武官敘位進階内則第四條ノ二ニ依リ

謹テ 奏ス

昭和十八年十月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎



海軍

三六

海秘入第一二三四補

昭和十八年十月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内閣總理大臣 東條英機 殿

故海軍中佐齋藤利之ハ多年軍職ニ在リテ克ク其ノ任務ヲ
盡シ功績顯著ノ者ニ候處南洋群島方面ニ於テ作戰從事中
八月二十八日戦死候ニ付テハ時ニ位一級被追陞度別紙上

海軍

奏書進達ス

(終)

官
不
登
載

18.1029
付受

丙 發第 三五七九

故海軍中佐 正六位齋藤利之

特旨ヲ以テ位一級追陞セラレ

昭和十八年十一月五日

正六位齋藤利之

敍從五位

昭和十八年八月二十八日

右之通 宣下相成候條此旨及傳達候位記竝辭
令ハ追テ可及回送候也

昭和十八年十一月五日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

海軍大臣

宮内省

言内書

武軍大司

宗輝寮懸懸千籍、瓦香小淵公共

開味十八年十一月五日

命ハ能ニ可及回致致此
亦之能 宣可味知知給此旨及聯致致此旨並續

開味十八年八月二十八日

給致五並

五六並管藤氏

開味十八年十一月五日

替旨ニ以テ並一懸能懸ニミル

若武軍千籍 五六並管藤氏

丙 發第 三 七 五 四 號

丙 發第 三 七 五 四 號